

Sun Fire™ X4170、X4270 および X4275 サーバー ご使用の手引き

このガイドでは、はじめてサーバーの電源を入れて、起動するときに行う必要のある最低限の手順を説明します。

詳細は、サーバー別の Sun ドキュメント Web サイトで入手できる Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーインストールガイドに記載してあります。ご使用のシステムのドキュメントリストは、このマニュアルの末尾にある「この製品のドキュメント」の項を参照してください。

目次

Sun Fire™ X4170、X4270、および X4275 サーバーは、安全ドキュメントとユーザーの設定に合わせて注文されたコンポーネントとともに出荷されます。オプションのコンポーネントまたはラック取り付け装置は、別に梱包され、出荷される場合があります。

ドキュメントおよびメディアキット

ドキュメントおよびメディアキットは、システムに合わせて注文できるオプションです。インストールドキュメント、Tools and Drivers CD/DVD、Sun Installation Assistant CD/DVD、および SunVTS CD/DVD が含まれています。販売部品番号 X5900A を使用して、ドキュメントおよびメディアキットをいつでも注文できます。

ドキュメントおよびメディアキットに含まれているドキュメントとソフトウェアは、次のサイトからダウンロードすることもできます。

- ドキュメント
 - <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.X4170?l=ja>
 - <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.X4170?l=ja>
 - <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.x4275?l=ja>
- ソフトウェア
 - <http://www.sun.com/servers/x64/x4170/downloads.jsp>
 - <http://www.sun.com/servers/x64/x4270/downloads.jsp>
 - <http://www.sun.com/servers/x64/x4275/downloads.jsp>

安全性とコンプライアンスに関する情報

インストールする前に、次のドキュメントを参照して Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー に関する安全情報を確認してください。

- Sun ハードウェアシステムの重要な安全性に関する情報 – 出荷キットに含まれている印刷版ドキュメント
- Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー安全性とコンプライアンスマニュアル – Sun ドキュメントサイトでオンライン

▼ オプションコンポーネントのインストール

サーバーをラックに取り付ける前に、DIMM、PCIe カードなどのサーバーとともに注文したオプションコンポーネントをまずインストールする必要があります。オプションコンポーネントの取り付け手順については、『Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーインストールガイド』を参照してください。

▼ システムのラックへの取り付け

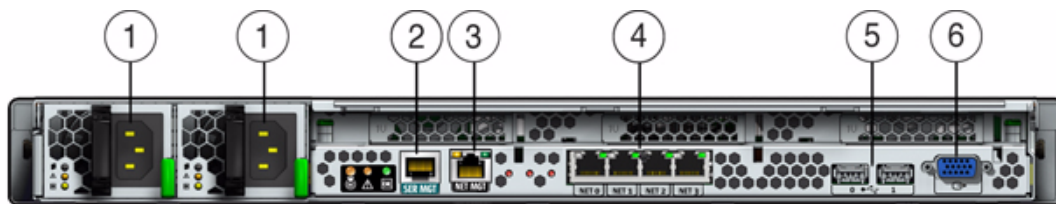
ラックに搭載する手順については、レールキットに付属しているドキュメント、サーバー上のサービスラベル、および『Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーインストールガイド』を参照してください。

▼ ケーブルの接続とサーバーへのスタンバイ電圧の適用

1. サーバーの SER MGT ポート (図 1) とシリアル端末デバイスをシリアルケーブルで接続します。

この接続で、SP との最初の通信が行われます。このデバイスの通信設定は、9600 ボー、8 ビット、パリティなし、1 ストップビットにします。ヌルモデム構成が必要です。つまり、DTE 間の通信で送受信の信号が逆になるようにクロスされます。付属の RJ-45 クロスオーバアダプタと標準 RJ-45 ケーブルを使用してヌルモデム構成にできます (図 1 は Sun Fire X4170 サーバーです。背面パネルのコネクタとポートの位置は、Sun Fire X4270 および X4275 サーバーと同じです)。

図 1 サーバーの背面パネル (サーバー接続部)



図の説明

1 AC 電源コネクタ	4 ギガビット Ethernet ポート NET 0、1、2、3 (Intel)
2 シリアル管理 (SER MGT)/RJ-45 シリアルポート	5 USB 2.0 ポート (0、1)
3 サービスプロセッサネットワーク管理 (NET MGT) ポート	6 HD15 ビデオコネクタ (アナログ VGA)

2. (オプション) サーバーの NET MGT ポートと先々 SP に接続されるネットワークを Ethernet ケーブルで接続します。

SER MGT ポートを使用してシステムを初期設定したあと、SP との通信はこの Ethernet インタフェースを通して通常行われます。

3. サーバーの NET ポート (NET 0、1、2、または 3) とサーバーが通信するネットワークを Ethernet ケーブルで接続します。

4. 電源コードを AC 電源コネクタに接続し、冗長性を強化して、電源ソースを分離します。

電源が加わると、SP が初期化されて、電源/OK LED が点滅します (図 2 および図 3)。数分後、端末デバイスに SP ログインプロンプトが表示されます。サーバーはまだ初期化されていませんし、電源も入っていません。接続オプションの詳細については、『Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー インストールガイド』を参照してください。

この時点では、スタンバイ電源はサービスプロセッサと電源装置のファンにのみ供給されています。プラットフォームのオペレーティングシステムをインストールする準備が整うまで、サーバーのほかの部分には主電源を入れないでください。スタンバイ電源モードでは、サーバーの前面パネルの電源/OK LED が点滅します。(図 2 は Sun Fire X4170 サーバーです。Sun Fire X4270 サーバーの前面パネルのコントロールの位置は、Sun Fire X4170 のコントロールと同じです。図 3 は Sun Fire X4275 サーバです)。

図 2 Sun Fire X4170 サーバーの前面パネルのコントロール



図の説明

1 電源/OK LED

2 電源ボタン

図 3 Sun Fire X4275 サーバーの前面パネルのコントロール



図の説明

1 電源ボタン

2 電源/OK LED

▼ ILOM への接続と IP アドレスの構成

ILOM (Integrated Lights Out Manager) SP に接続して、初期設定し、IP アドレスを構成する方法は 3 つあります。

- シリアル接続を使用して ILOM に接続します
- Ethernet 接続 (DHCP) を使用して ILOM に接続します
- Ethernet 接続 (静的 IP アドレス) を使用して ILOM に接続します

ILOM を使用して Sun システム管理の詳細については、次の URL を開きます。<http://www.sun.com/systemmanagement/index.jsp>

ILOM を使用したサーバーの構成と管理の手順については、『Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーインストールガイド』、および『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』または『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Documentation Collection』を参照してください。

▼ 主電源のサーバーへの適用

次の手順を使用してサーバーに主電源を加えます。



注意 – 取り付けられていないファン、コンポーネントヒートシンク、エアバッフル、およびカバーがある状態では、サーバーを動作させないでください。冷却機構が不十分なまま動作させた場合、コンポーネントに重大な損傷が生じることがあります。

1. 電源コードが接続され (図 1)、スタンバイ電源がオンの状態であることを確認します。
2. 導電性のないボールペンを使用して、前面パネルにある埋め込み式の電源ボタンを押してから離します。
サーバー全体に主電源が供給されている場合、電源/OK LED が点灯し、そのまま点灯し続けます。

注 – サーバーの電源を初めて入れた場合、POST (電源投入時自己診断、Power-On Self-Test) の終了に 1 分かかります。

3. Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーインストールガイドの説明に従って、初期ソフトウェア設定作業を続けます。

▼ ファームウェアのアップグレード

更新済みファームウェア、サポートされている Linux または Windows オペレーティングシステム、および最新のハードウェアを容易にインストールできるため、**Sun Installation Assistant (SIA)** を使用することを強くお勧めします。SIA はドキュメントおよびメディアキットに含まれており、<http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp> からオンラインでも入手できます。『Sun Installation Assistant for Windows and Linux User's Guide』 (820-3357) (<http://docs.sun.com/app/docs/prod/install.x64svr#hic>) も参照してください。

SIA を使用しないで ILOM ファームウェアとシステム BIOS を更新するには、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』 (<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr20#hic>) または『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Documentation Collection』 (<http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic>) を参照してください。

すべてのファームウェアとドライバは、ドキュメントおよびメディアキットに含まれている Tools and Drivers CD/DVD にあります。Tools and Drivers CD/DVD に収録されているソフトウェアは、Sun ソフトウェアダウンロードサイトからダウンロードすることもできます (次の表のリンクを参照)。

▼ プラットフォームオペレーティングシステムおよびドライバソフトウェアのセットアップ

ネットワーク設定の ILOM SP を構成したあと、プリインストールされているサポート対象オペレーティングシステム (OS) を構成できます。

次の表に、オペレーティングシステム、システムデバイスドライバ、ファームウェア、およびパッチのインストールに関する他の参照先を示します。

オペレーティングシステム:	参照ドキュメント:	インストールに関する参照先:	最新のソフトウェアリリース (ツール、ドライバ、ファームウェア、SIA) の入手先:	パッチに関する参照先:
プリインストールされた Solaris OS	Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー設置マニュアル	http://www.sun.com/software/preinstall/	<ul style="list-style-type: none"> • http://www.sun.com/servers/x64/x4170/downloads.jsp • http://www.sun.com/servers/x64/x4270/downloads.jsp • http://www.sun.com/servers/x64/x4275/downloads.jsp • Windows または Linux: ファームウェアの自動更新とドライバのインストールに SIA を使用します 	<ul style="list-style-type: none"> • 『Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーご使用にあたって』を参照 • http://sunsolve.sun.com
Solaris OS	Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー	http://www.sun.com/software/solaris		
OpenSolaris	Linux、VMware、および Solaris オペレーティングシステム・インストールガイド	http://www.vmware.com/		<ul style="list-style-type: none"> • http://www.redhat.com/apps/download/ • SUSE: http://download.novell.com/index.jsp
VMware (ESX)	Solaris オペレーティングシステム・インストールガイド	http://www.vmware.com/		
Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows または Linux: Sun Installation Assistant for Windows and Linux User's Guide • Windows: Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー Windows オペレーティングシステムインストールガイド • Linux: Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバー Linux、VMware、および Solaris オペレーティングシステム・インストールガイド 	<ul style="list-style-type: none"> • http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp • http://www.sun.com/servers/x64/x4170/os.jsp • http://www.sun.com/servers/x64/x4270/os.jsp • http://www.sun.com/servers/x64/x4275/os.jsp 	<ul style="list-style-type: none"> • http://update.microsoft.com/ 	
Linux				

▼ システムの登録

1. EZ ラベルかシステムに同梱されている顧客情報に記載されているシステムのシリアル番号を見つけます。
2. 次の Web サイトを開いて、システムを登録します。

<http://www.sun.com/service/warranty/index.xml#reg>

この製品のドキュメント

次の表は、ドキュメントと、新規システムをインストールするときに実行する作業の概略順を一覧したものです。ドキュメントの最新版は次の Sun Web サイトにあります。

- <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.X4170?l=ja>
- <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.x4270?l=ja>
- <http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.x4275?l=ja>

ドキュメントの翻訳版については、<http://docs.sun.com> Web サイトを開き、言語を選択して、希望する言語のドキュメントセットにアクセスします。

作業	ドキュメントのタイプ	Part No.
安全情報の確認。	Safety and Compliance Guide (安全の手引き)	820-5832
	Important Safety Information for Sun Hardware (Sun ハードウェアシステム安全上の注意)	816-7190
既知の問題と回避方法の確認。	プロダクトノート	820-7819
サーバーのラックへの取り付け。ハードウェアの設定と構成。プリインストールされている Solaris OS の構成。	Installation Guide (設置マニュアル)	820-7804
(オプション) Solaris、Linux、または Windows OS のインストールと構成。	Linux、VMware、および Solaris OS インストールガイド	820-7807
	Windows OS インストールガイド	820-7810
サーバーアカウントの管理、アラートの監視、リモートアクセスとリダイレクトの設定、およびコンポーネントステータスとイベントログの表示。	Sun ILOM 2.0 ドキュメント: http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr20#hic	複数のドキュメント
	Sun ILOM 3.0 ドキュメント: http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic	複数のドキュメント
BIOS および RAID 設定の設定。サービスコンポーネント	サービスマニュアル	820-5830

Sun 連絡先

トピック	URL
技術サポート	http://www.sun.com/service/contacting
このドキュメントに関するコメントの送付	http://www.sun.com/hwdocs/feedback ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。 Sun Fire X4170、X4270、および X4275 サーバーご使用の手引き (820-7801-11)
ドライバおよびファームウェア更新	「プラットフォームオペレーティングシステムおよびドライバソフトウェアのセットアップ。」を参照してください。

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-7801-11、改訂 A
2009 年 6 月